

教科	美術		科目	コンピュータ造形	単位数	2単位
学年	2年	科	美術造形デザイン科	専攻・コース		
教科書				副教材	適宜テキストプリントを配布	
学習到達目標	<p>メディアの特性を生かした構想を身に付け、表現の幅を広げる。 1年次に習得したコンピュータソフト（H30年度より最新アドビ・イラストレーター CC）の活用スキルを深めると共に新たなコンピュータソフト（アドビ・フォトショップCC）の基礎技術を習得する。 ○イラストレーターを使いこなす。 ○フォトショップにより画像を意図した表現に加工する方法を身につける。 ○2つのソフトの特徴や活かし方を理解し、操作の共通性や違いを把握する。</p>					
評価の観点	<p>ソフトの基本機能と特質に関心を持ち、イラストレーターの得意とする表現を味わう。技術の向上に努め、主体的に制作活動に取り組む。デザインの目的を実現するために、基本機能を習得し、それらを効果的に活かした構成を工夫し、自己の追究したい主題の構想を練る。機能を応用し、色彩、形態、空間感、質感の表現など、意図に応じ表現方法を構想し、創造的に工夫をする。</p>					
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標			備考
前	4	面で描くイラスト	<p>イラストレーターを使い、写真をベースにモチーフを面で捉えたイラスト制作を行う。オートトレースにはないオリジナル性を追求する。 ○テーマに合わせたモチーフの選択と構成を行い、目指す表現をきちんと定める。</p>			資料収集 制作態度 作品提出
	5		<p>○イラストレーターの基本操作をマスターし、自己の目指す表現に活用する。 ・ペンツールの基本操作 ・線や図形の描画 ・オブジェクトの前後関係 ・レイヤーの活用</p>			
	6		<p>○細やかな部分まで意識を向け、細部の調整まで行えるスキルを身につける。</p>			
	7	フォトショップの基本講習及び演習	<p>・画面各部の名称から、基本操作 ・画像の解像度に関する解説</p>			授業態度 演習プリント
	8	次課題のための資料収集	<p>画像合成課題に向け、テーマに合わせた画像素材の収集と目指す表現に近い参考作品を収集する。課題に向けモチベーションを高める。 ○画像解像度を意識して素材を収集・準備する。 ○自ら撮影した画像データ、雑誌等から探した画像のスクリーンショット、インターネット等で収集した画像データ等を収集しておく。 ○収集画像をプリントアウトし、資料としてファイリングする。</p>			資料収集
期	9	フォトショップの基本講習及び演習	<p>○画像の色調補正に関する基本操作（色調補正パネルの基本操作） 各補正内容の違いや補正方法を習得する。 ○画像の加工に関する基本操作 ・キャンバスサイズの変更、 ・塗りつぶし ・コピースタンプツール ・フィルターギャラリー 等 ○各講座後に復習のための演習を行い習得する。 ○最終的に学んだ基本操作を取り入れた画像合成演習を行い、総合的な活用を学ぶ。</p>			授業態度 演習プリント

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	10	画像合成を活用した作品制作 「私の原風景」	色調補正や画像加工の基礎演習課題 ○収集した画像素材を基に、合成内容をスケッチして表現する。 ○フォトショップの基本操作を活用し、思い描いた表現の実現を追求する。	資料収集 制作態度 作品提出
	11		○画像解像度の違いによる画質の違いや各色調補正の活用方法を学ぶ。 ○何枚もの画像を1枚の画像に合成していく過程を学ぶ。	
期	12	画像加工を活用した作品制作 「アナログ感を活かしたイラスト」	前課題を更に発展させた課題。 手描きで作成した素材を画像データとして取り込み、アナログ感の感じられるイラストに昇華させる。	資料収集 制作態度 作品提出
	1		○画像合成や色調補正、レイヤーマスク使い等の基本的操作をマスターする。 ○データで扱うことで表現の編集・加工を繰り返すことができることを学び、自己の目指す表現の追求を行う。	
	2		○作成した素材内容やスキャン方法により画像データとしての価値や扱いやすさが変化することを意識させる。	
	3		○フォトショップの基本操作に慣れ親しみ応用への意欲を芽生えさせる。	